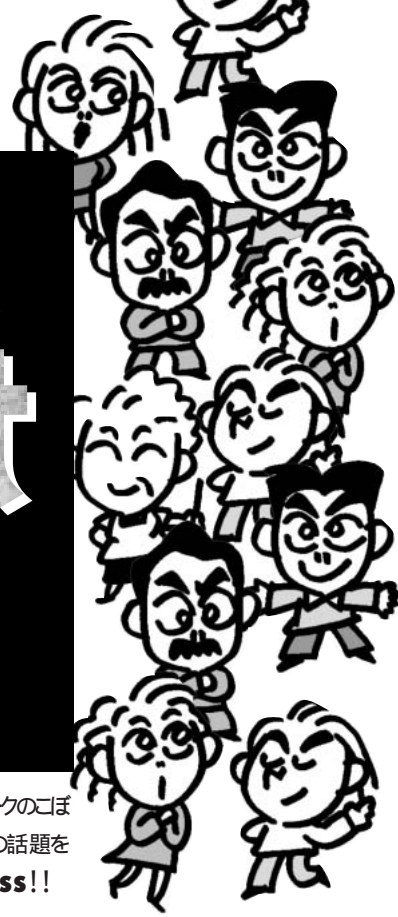


We Love

インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合

Internet People



このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの人の参加をお願いします。

Let's Access!!

Shouting!

今月の高座



最近、気がついたことです。

Q：なぜ、会社のえらい人にはインターネットのインパクトが伝わらないか？

A：そういう人はインターネットがいらなから。

なぜ、いらなからかというと、メールを送るよりも電話で呼びつけて「ちょっと説明に来て」。WWWで情報をブラウズしなくても、「こういう情報調べといて」。いわば、下っ端社員という究極のインテリジェント環境を

持っているからです。こういう人は、そういう割り込みが裏でどれほど非効率を生んでいるかわかっていない。だから、我々が感じるインパクトを共感できない。「金かけてその程度かあ？」という感じになる。情報をシェアする感覚も恐ろしく鈍い。我々は、自分が面白いのか？ 他人に喜んでもらえるか？ 便利か？ で判断できるけど、彼らは会社の利益になるか？ が習性になってしまっているからでしょう。（メーカー勤務・飯塚）



要は体験したかどうかなんです。僕は進学した大学が辛いにも全学生に対してインターネットへのアクセスを許可しているため、学校内の端末からであれば何時間でもネットワークを渡り歩くことができます。そのおかげで世界へ発信する手段を理解できました。東京にはインターネットを自由に体験できる店があるようですね。このような店が地方にも増え、万人が手軽に世界と交信できるように願っています。（Takashi）



インターネットは始めるまでがけっこう長い。Takashiさん（左）のように、知らないうちに使っていたというのが理想でしょうね。とりあえず、「競合他社もやっています」と強引に推し進めた後は、編集部saitou-aのアダルトページセレクション（<http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/staff/saitou-a/>）でも見せておき、変化を待ちましょう。



編集部

Chatting!

声を聞かせて

会社にインターネットを引くという話が持ち上がりました。自分はまだつなげただけで何もわかっていないのですが、ベッコアメにつなげられるのを自慢したくて、30分の休み時間にとりあえず2、3人集めて会社のパソコンと14400bps モデムでWWWにアクセスしました。しかし、とにかく遅いのです。なかなか画面が表示されなくて地球が回るばかり。そのうち「画面が出たら呼んで」と言って、1人、また1人といなくなってしまうました。結局、休み時間が終わる少し前に画面が表示されたとき、パソコンの前には自分しかおらず、誰にも見てもらえませんでした。



(森 央児)

家庭に専用線を引きたいと思っていただけに、近距離専用線料金の値上げはショックです。しかし、落胆していても始まらないので、個人向けに安くインターネットと常時接続する方法について特集していた

だけないでしょうか？



(寄立昌孝)

NTTのテレホーダイが本格的に始まりました。月額1800円で一晩中かけられるのは確かに安い。固定料金制のプロバイダーと組み合わせれば、夜中に何時間つなぎっぱなしでも一定額しかかからない。でも、そういう人が増えるとプロバイダーの回線数が足らなくなってBUSYが増えるんでしょね。回線増設のために料金アップ、従量制へ移行なんてことにならなければいいのですが。



(Yasunori Okada)

インターネットマガジンを創刊号から購入しつづけて、ようやく加入の決心がつかしました。加入したのはIBMです。前々から月会費固定を考えていたのですが、NTTのテレホーダイを考えると、一回つなげれ

ば「寝ていても切らない」不届き者が出てきそうで、IBMは比較的安価なほうだし、海外へのルートが確立されているし(逆に日本へトンボ返りするのは不得意?)、なんとと言っても私がOS/2を持ってるとも、悲しいのはモデムが14400bpsと遅いこと。ちなみにOS/2付属のメールソフトはダウンロードすれば日本語対応になるそうです。www.ibm.co.jpからフロッピーディスク3枚分。



(f2)

実は、私の通信環境では付録のCD-ROMを使ってみることも、WWWサーバーを見ることもできませんが、いずれはという気持ちで読んでいます。ついていけない話題もありますが、入門者が読んでいることを忘れてはいない内容になっていると思います。ただ、気になるのは価格です。常には買えないので連載でぬけているところが気になったり、いつもCD-ROMが...



(若林尚之)

新企画

Thinking!

あなたの意見を問うインターネットマガジン世論調査スタート

テーマ

宗教法人法は改正すべきだと思いますか？

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

NTTの専用線料金改定がいつの間にか決まってしまう、フランスも核実験を強行しました。そんな社会問題について、より多くの個人の意見を聞いてみたいという趣旨のもと、インターネットマガジンでは、WWWサーバーによる世論調査をスタートします。毎月話題になっている時事問題やインターネットそのものに関するテーマを設定しますので、WWWサー

バーにアクセスしてyesかnoをお答えください。集計結果と送っていただいた意見は、We Love Internet Peopleのコーナーで紹介していきます。お答えいただいた方全員に、20iP(1名1回)を進呈。第1回目は「宗教法人法は改正すべきだと思いますか？」。

回答締切 10月29日まで

集計結果発表 1月号(95年11月29日発売号)

We Love Internet Peopleの宛先電子メールアドレスは

ip-box@impress.co.jp

WWW情報、インターネットに関する意見、面白い企画、何でもいので送ってください。インターネットポイント(P236)発行中。

フランス核実験反対ページ Stop Nuclear Test!のメンバーたち



☞ 反核活動や市民運動の経験は?

清水 僕は高校の頃から何かあるとだまっ
てはられないタチで。デモに参加したり、
軍歌的な高校がいやで校歌廃止運動をし
たことがある。2年前、文系と理系に授業
料の格差ができるという話が持ち上がった
ときも、すぐにみんなと議論をしました。
そのとき西原くんが法学部の人に論破され
て落ち込んでた。僕も以前同じ経験をし
ていたので、「こんなことはもっと楽しくや
ろうよ」と言って、僕の中古自転車に2人
乗りして学内の知り合いをたずねて回りました。
あれは楽しかったな。

西原 僕はその授業料反対の署名集めが
初めてだったんです。駒場キャンパスのほ
うでは社会運動に積極的な人がけっこうい
て何かしたいなという気持ちは強かったん
だけど、彼らはどちらかというと、他の学生
から遊離した存在、けむたがられる存在だ
ったから、僕はその人たちを横目でながめ
ながら通りすぎていた。授業料のことは直
接自分が被害を被る問題だったけど、僕
が中心になったのではなく知り合いの後輩
に協力してくれと言われたので始めました。
松井 僕も社会活動に参加している人た

ちに距離を置いていました。冷静さを欠い
ているように見えていやだったから、デモ
に参加したこともない。自分には本業があ
るし、コストがかかりすぎると思った。
清水 授業料値上げ反対のとき、僕はチ
ェーンレターを始めました。オンラインで
はなく手紙のほう。コピーしてばらまいて
100以上の署名を集めました。最後にこれ
は電子メールに載せると軽くていいなと思
ったんですが、期限切れで実現しなかった。
西原 今考えるとそこが根になってるね。

☞ インターネットには詳しかった?

清水 いや、モザイクって何?って感じ。メ
ーリングリストも知らなかったし、ニュー
スグループも読まなかった。学校で人に言
われたとおりにただメールを使ってただけ。
松井 フォワードも知らなかったよなあ。
西原 僕は先輩に論文検索ができると言
われて使い始めた。その先輩はモザイクは
論文検索のためのものだと思ってたみたい。
いるんなところをクリックしていくと論文
以外もあるということに気がついた。ただ
露出狂のようなページが多くて(笑) 潜在
能力はあるのにいいアイデアがないとイン

このコーナーではインターネットで話題に
なった人に毎回登場していただく。今月は
フランスの核実験再開阻止のために電子メ
ールとWWWページで5万人以上の署名を
集めたStop Nuclear Test!のメンバーから
清水さん、西原さん、松井さんの3人。

*取材はフランスが核実験を行った前日の9月5日に行い
ました。

ターネットはすたれてしまうだろうと思いま
した。そう考えたとき、清水くんからメ
ールの署名運動という話を聞いて、面白そう
だなと。今学部に入ってくる人たち全員に
インターネットのアカウントがありますから。
清水 授業料反対運動で楽しみながら社
会的な行動ができることを実感した。パブ
リックにアジテートしちゃうたりすると人
は聞いてくれないけど、友達同士でねえね
えと声をかけると絶対に逃げていかない。
熱しすぎて周りから浮いてしまう人や組織
フェチに陥ってしまう人、一方で核実験は
いやだとブツブツと言ってる人たちを見て、
行動するのは敷居が高すぎる、敷居を下
げたいと思っていた。叫ぶのではなく囁く。
そのためにはインターネットが最適だった。

☞ 運動中、印象に残ってることは?

清水 読んだ人は何人にメールを送ってく
ださいと言った、チェーンメールを6月20日
に初めて30人の学内の友達に送ったとき、
これはインターネットの本来の使い方反
するものだからやめると言われた。1週間
後、やっとフランス在住の日本人から届い
た。「これを80人に送り付けました」って!

西原 チェーンメールの悪さを認識していなかったの、賛同してくれる人がいたんだなとうれしかった。

清水 7月2日からは20通、60通、80通、100通、250通、500通、1200通、2000通...

西原 チェーンメールへの批判もあって7月10日にホームページを立ち上げた。自動署名とそれを集計するシステムは研究室の先輩の重国さんが作ってくれました。

清水 チェーンの時にマルチリンガルの人には別の国の言葉に翻訳してくださいというお祭りオプションをつけておいたんです。

西原 すると翻訳してわざわざHTMLに書いて送ってくれた人もいました。

清水 早くからメールやホームページを見たドイツのジャーナリストが新聞に載せるよというメールをくれた。そんなふう、みんなが自主的にやりたいことをやればそれが形になる。僕たちはその多様性に身をゆだねればいい。こっちに方針があってみんなに役割を与えるというわけではなく、みんながそれぞれやりたいことをやればそれがやるべきことだったという状況になった。

西原 南極のアメリカ基地からもきた。

清水 今までインターネットはポルノばかりに使われていたけど、やっという方法、まともな使い方をする人たちが現れたなというお褒めのメールももらいました。

西原 チェーンメールをやめたときは、「チェーンメールによってインターネットがバンクしてしまったという結論になればよかったのに。それぐらいのほうが影響力があるから」という人もいた。

清水 胃を刺激するようなことを(苦笑)

西原 楽しかったけど恐くもあった。

清水 うん、僕は最初は高校、日本、そして今度は世界。それも中心人物の1人だったわけだから、自分の影響力が恐かった。ただ興奮状態ではなく、楽しいけど冷静。

西原 冷静にならざるをえないんです。1日にすごいメールの数がきて、しかも1000通、2000通と増えていく。何の策もなく進んでいくと破綻してしまうと思った。

松井 僕はホームページから参加したけど、いろんな人に出会えたのでただ楽しかった。夏祭りみたいなものだな、僕にとっては。

🗣️ 他国からの意見で批判的なものは？

清水 日本人は戦後50年決議もまともにあげられない。プルトニウムをフランスに頼っているのになぜこういう声を出すのかと言う人がいた。でも、僕は個人として運動をしたわけで、ナショナリズムを、日本という国をバックに着ているわけではない。

西原 僕は逆にいつも自分を日本人だと意識しているけど、国が優柔不断な態度をとっていても個人はそうとは限らない。よく日本人は顔が見えない民族だと言われるけど、それは他国の人たちと個と個としての交流をしてこなかったからだと思う。インターネットを使えば個として個を知ることができる。個の姿をさらけ出せる。そういう道具として有効だと思いました。

清水 アメリカに住む韓国人の教授から僕に手紙がきて、もし君が人類の凶器に反対するなら日本の戦争責任の問題になぜとりくまないのかと書いてあった。僕が高校からの自分の体験、家族の戦争体験を送ったら、とても高く評価してくれた。

🗣️ 他の市民運動グループの反応は？

清水 僕たちは自分のできる範囲で、笑

いながらシリアスな核実験という問題をやっているけど、その矛盾を周りの人に指摘されることがある。汗水たらして街頭で署名を集めてくれるのがいいことだという人もいる。でも、僕たちは成果をあげたいから、やれることしかやれない。

西原 全精力を傾けなくても抗議活動はできる。僕たちみたいに時間をさけないけど行動したいという人が、インターネットを使うようになればいいと思う。

🗣️ ホームページの今後は？

清水 単に署名を集めるのではなく、核実験反対運動を誰もが気軽にやるための、種まき、情報提供サイトになりたい。

西原 1か所のサイトで集めるよりも複数のサイトで集めたほうがはるかに多くの署名が集まります。これからは世界のサイトと組んでネットワーク作りを進めていきたい。

清水 広く薄く支えられる運動を目指してやってきたけど、そうではなくなってきたからね。みんなが少しずつやってはじめて歴史は変わると思う。「つぶやき」と「ささやき」の間の壁は案外薄いと思うんです。だからみんなのつぶやきをささやきに転換するシステムを提供していきたい。核実験が行われても、僕はこの態度を変えません。自分をクールにして、ネットワークを地道に作っていいと思っています。



西原祐一
(にしはら ゆういち)
1972年3月9日生まれ。血液型A型。東京大学大学院理学研究室物理学専攻。研究テーマは素粒子。来年の就職先が内定している。



清水青史(しみず せいし)
1971年8月14日生まれ。血液型O型。東京大学大学院理学研究室物理学専攻。超高速レーザー分光学を研究。フルート、声楽、ものを書くことが好き。

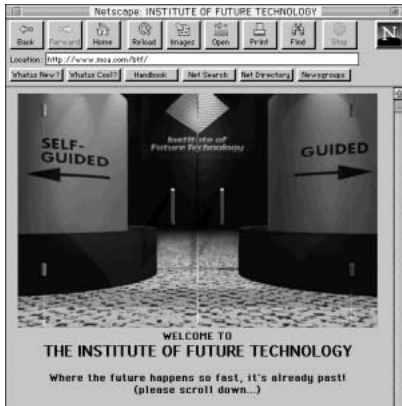


松井直史
(まつい なおふみ)
1973年7月19日生まれ。血液型O型。人にあつて話をするのが好き。東京大学法学部3年法 類公法コース在籍。

URL <http://www.ijinet.or.jp/nuke/>
このほか原田騎郎さん、重国和宏さんほか顔を合わせるスタッフは7人。顔を合わせないスタッフは多数...

NetSerfing!

読者が作るイエローページ



THE INSTITUTE OF FUTURE TECHNOLOGY

THE INSTITUTE OF FUTURE TECHNOLOGY

URL <http://www.mca.com/btf/>

MCAグループのユニバーサルスタジオ内にあるバックトゥザフューチャーライド(東京ディズニーランドのスタートアーズのようなもの)をそのままWWWにしたサイトです。私は2年程前に新婚旅行でフロリダのユニバーサルスタジオへ行った際、乗りました。世界で一番面白いアトラクションはこのバックトゥザフューチャーライドだと確信しています。このサイトは実際の乗物を忠実に表現していて一度でもこれに乗ったことがある人なら感動まちがいないです。私はWWWを会社でしか見られないので女房にこれを見せることができなくてくやしと思っています。(津金成年)

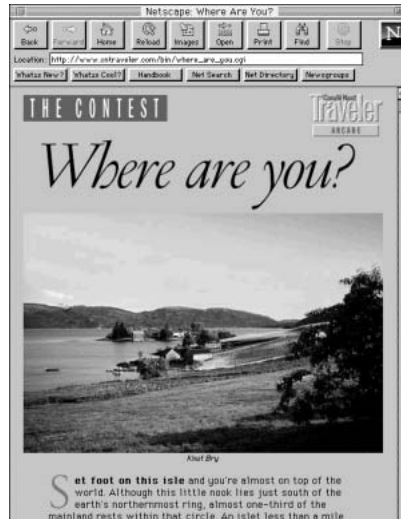


ここはどこ?クイズ 賞品付き!

URL http://www.cntraveler.com/bin/where_are_you.cgi/

ページに出ている世界のどこかの風景写真の場所をあてるクイズ。赤道から何千キロメートル。昔パイキングが何とかで、この国の首都は別名何とかと呼ばれているなど、ヒントもついているが、地名まで当てないといけないのでかなり難しい。このページは米国の旅行月刊誌「Conde Nast Traveler」が開いていて、雑誌版にも同じコーナーがあるが、WWW版

Oliver M. Bolzerさんとayako tanakaさんはネットサーフィンの達人。数ではayakoさんだが、レポート内容ではOliverさんが一歩リード。今、編集部がもっとも注目しているサーファーだ。さあ、君もWWW情報を送ってインターネットポイントを集めよう。



ここはどこ?クイズ 賞品付き!

とは出題内容が違う。海外旅行、地理に自信を持っている方、チャレンジ!
(野口哲也)



A hunt for SQUIDはイカリンクだ

URL <http://sleepless.cs.uiuc.edu/sigsoft/squid.html>

アテもなくさまよっていると変な場所にいました。ホームページは字面であまり興味がわきませんが、内容はタイトルどおり、イカだけのページです。イカに関するのなら百科事典から博物館、GIFファイル、BMPファイル、コミックなどさまざまなサーバーにリンクがはつてあります。「もしマドンナがイカだったなら...」なんてドリフの大爆笑のようなコーナーもあります。モビーディック?もダウンロードして読めます。「イカ」とあだ名の付いている人の紹介コーナーもあり、その人にメールも送れるようになっています。とにかくイカだらけ!ただ最後のほうにテンタクルス(タコ)に関するコーナーがぼつんとありますが、内容はご自分でどうぞ。(Nobushige Saitoh)



東京電機大学SOLAR ELECTRIC VEHICLE

URL <http://133.20.30.2/>

わたしの母校のサーバーで、いま電気自動車による北米横断にチャレンジしています。毎日写真入りでアップデートされていておもしろいです。今回の目的は、電気自動車はもちろんのこと、移動体通信による情報転送の有用性の実証も目的となっています。(鈴木 悟)



The Seismo Lab

URL <http://www.gps.caltech.edu/seismo/seismo.page.html>

世界中の地震計のデータを集めており、世界のどこかで大きな地震(平均週2回)が起こると即日地震計の読みだしデータが登録されます。神戸大震災のときも24時間以内にデータが登録され、いかに強烈な揺れだったか想像させられました(神戸の皆さん、復興がんばってください)。8月16日のソロモン諸島地震に関するデータも48時間以内にアップされています。



(Oliver M. Bolzer)

自薦PetCemetery

URL <http://www.st.rim.or.jp:80/liliko/pc.html>

ペットを飼っている人って多いけれど一番悲しいのはお別れするときよね。私の家ではペロという雑種犬が18年間も一緒に暮らしていたのだけれど、寿命がきちゃって数年前に他界してしまったの。さびしい思いをしないうために、アメリカから同じような境遇のもとにある方々も参加して下さってこのような場所を設けました。タイトルは恐いけれど安らかな場所だから訪ねてみてね。(ayako tanaka)



impress.co.jp

発表! インプレスWWWサーバー アクセスランキング



1位と5位以外は<http://home.impress.co.jp> に続けて入力してね。

- | | |
|---|---|
| 1位 秋葉原マップ
http://www.impress.co.jp/akibamap/ | 6位 N+I RealTimes95
/rtimes95/ |
| 2位 日本全国WWWサーバーガイド
/serverjp/ | 7位 ソフトナビゲーター
/magazine/inetmag/softnavi/ |
| 3位 インターネットマガジンホームページ
/magazine/inetmag/ | 8位 ホットイエローページ
/magazine/inetmag/yellowpg/ |
| 4位 RealAudio 情報ページ
/resource/raudio/ | 9位 マガジンナビゲーター
/magazine/inetmag/magnavi/ |
| 5位 What's New
http://www.impress.co.jp/whatsnew/ | 10位 編集者のホームページ
/magazine/inetmag/staff/ |

7月28日～8月26日の集計結果です。1207899アクセス、みなさん、どうもありがとう。
2位の「日本全国WWWサーバーガイド」は、現在「WWWナビゲーター (/magazine/inetmag/wwwnavi/)」に移行しつつあるのでそちらもよろしく。

インターネットをテーマにしたテレビ番組 「インターネット・エクスプレス」

テレビ東京で10月13日からスタート
インターネットをテーマにした新番組「インターネット・エクスプレス」がスタートする。10月13日から毎週金曜午後10時30分から30分間、テレビ東京で放送される。司会はピーター・バラカンと川口雅代。慶応大学の村井純氏もレギュラー出演する。第1回目の10月13日のテーマは今インターネットで一番ホットな話題「インターネット万博」を取り上げ、続いて「インターネットの可能性」や「インターネットニュービジネス」などを予定。番組にはインターネットマガジンも企画協力している。放映地域は関東地方のみ。



「そのありふれた出来事は一つの奇跡だった」
村瀬尚之@インターネット互助会横浜
これを目にしたのも1つの奇跡だった。

それでも私は理性を信じています
井上浩一

「それでも」の前が聞きたかった。
すべては時が解決してくれる
遠藤@セイコー電子
このシグネチャーには時計の絵もついてた。

一千年に一度だけすべてのヒトのはばたきの
重なる瞬間が訪れる - とネコから聞き出した
山崎浩一
アニメの1シーンの言葉であった。

人生莫恨 無人識
幽谷深山 華自紅
石田悟

江戸中期の哲学者・三浦梅園の作品であった。

ハムスターは蒸かしジャガイモ好き
小倉 統
パットライスも好きだそうだ。

無意味な「インターネット就職協定」に反対
します。
水戸 成

「履歴書はホームページ参照」の時代だもの。

秘宝発見! シグネチャーで読む ボ・エ・ム

ニュースや電子メールのメッセージの
最後に付けられるシグネチャー(署名)
には、格言から捨てゼリフまで、さま
ざまなメッセージが付いてくる。その
私的なつぶやきに込められた真理の
数々を思いながら、たまには大き
な声で朗読してみないか。

知力、体力、時の運。そして日頃の行い
わかってはいるけれど...

「国会で青島幸男がそう決めたのか?」
バカボンのおやじ
Yoshiyuki KONDO

赤塚不二雄の作品であった。
どうもプロストはマクラーレンに復帰するらしい
西尾淳史

そうらしい。
「大丈夫。医学がだめでも科学があります。
歩けるどころか、空だって飛べるようになりますよ...」
天羽優子

某宗教団体を思い出してしまった。
IZUMI is me.
泉 知論

これを朗読してどうしろと言うのか。

募集中
あなたがインターネットで見つけたシグネチャー、
ボエム、暗号メッセージ、変なドメイン、
何でもいから送ってほしい。自薦他薦どちら
も歓迎! 掲載分には500iP送るぞ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp